

平成25年度 国土交通省「広域的地域間共助事業」

【アンケート・提言への回答のお願い】

[1]アンケート・提言の目的:

東日本大震災においては、都市と農村の交流連携や姉妹都市・友好都市連携など、地域活性化や地域振興を目的とした遠隔地との連携・交流の取組がきっかけとなって被災地の支援活動に発展するなど、平時に構築した連携の枠組みが有事の助け合いにおいて効果的に機能を発揮しました。すぎと SOHO クラブ・NPO 埼玉ネットは行政間、行政とNPO・市民団体(以下NPO等という)との連携を支援し多数の広域的地域間共助を進めてきました。

このような取組を有効に機能させるためには、常日頃から連携する地域同士が「顔の見える関係」づくりを継続的に進めておくとともに、いざという時の手厚い支援に繋げるために、行政関係者のみならず、地域住民や企業、NPO等など幅広い関係者を巻き込み、多様な階層が重層的な連携体制を構築することが必要と考えています。

このため、①今後発生し得る広域的な巨大災害への備えに万全を期する観点から、同時被災リスクの少ない複数の地域における、②行政、民間企業、NPO等の多様な主体が地域を越えて広く連携し、③それぞれ保有する資源、ノウハウ、マンパワーなどを有機的に結び付けながら、④地域活性化等のための平時の枠組みを活かしつつ、これと合わせて、民間防災組織のリーダーの資質と能力の向上を図るため、協働型災害訓練(ICS・DIG活用)等の災害時の支援・受援に向けた連携の取組を同時に進めていく事業を円滑に実施するための環境整備を図り、地域活性化のみならず、地域の安心・安全の確保にも繋げることを目的とし、事業達成を行います。

調査結果は、統計資料としてホームページ等で公開し、行政に対する提言・意見書や報告書・書籍論文、シンポジウムや講演会・学会発表などの方法による公表を予定しています。

[2]アンケート・提言実施の概要:

実施期間:2013年7月～2014年1月31日

対象:関心がある一般市民、専門家・研究者、民間防災組織員、行政関係者等

方法:専門家会議、イベント、ホームページ等でアンケート・提言用紙を配布し、料金受取人払い封筒等にて返信を依頼します。また、訓練イベント等での回収も行います。

倫理的配慮:アンケート調査への参加は強制ではなく、可能な範囲での回答で構いません。また、得られた情報は主催者の責任において統計解析し、個人的なデータが外部に漏れることなく、プライバシーを厳重に保護した上で調査用紙の管理を行います。

平成25年7月吉日

杉戸町・富岡町・川内村地域間共助推進協議会

(構成団体:杉戸町・富岡町・川内村・NPO法人すぎとSOHOクラブ・NPO法人NPO埼玉ネット)

〒331-0823 埼玉県さいたま市北区日進町2丁目 544 番地 1

埼玉 NPO ハウス

TEL048-729-6151 FAX048-729-6152

<http://kyoujo.nngo.net/>

【アンケート項目】(該当する項目を○で囲んでください)

●問1 あなたについて教えてください。

Q01.所属 ①一般市民 ②専門家・研究者 ③民間防災組織員 ④行政組織員 ⑤その他

Q02.東日本大震災発生時の役割

①緊急出動 ②応援出動 ③避難者受け入れ ④できなかった

C01.その他 課題またはできなかった理由棟をご自由に記述ください。

.....

.....

.....

.....

●問2 広域的地域間共助について。

Q03.本事業の活動計画の作成 ①参加したい ②必要だ ③必要ない ④わからない

Q04.広域的災害図上訓練(DIG)の実施

※DIG…Disaster(災害)、Imagination(想像力)、Game(ゲーム)の頭文字を取ったもので、参加者が地図を使って防災対策を検討する訓練のこと。ステークホルダーが一同に介して行うことで、情報や課題や対策を多くの人々が共有することができる手法として注目されている。

①参加したい ②必要だ ③必要ない ④わからない

Q05. 協働型災害訓練(ICS・DIG活用)について。※最終ページにイメージ図を掲載

首都圏直下型大地震を想定し、災害版ISOとして世界共通言語となっているICS導入を目指した環境整備を行う。

自主的な初動救助を担う市民救助隊(CommunityFirstResponder)・全日本救助犬団体協議会・市民航空災害支援センター等が組織され個別に実務的な訓練を行っている。これらを活用し統合的な実務・連携訓練を行い、顔の見える関係づくりを進めて、発生時に迅速かつ正確に対応ができる環境を整える。

※ICS…IncidentCommandSystem、災害現場・事件現場などにおける命令系統や管理手法が標準化されたマネジメント・システム。

①参加したい ②必要だ ③必要ない ④わからない

Q06.地域拠点の整備・人材育成交流事業(杉戸町・富岡町・川内村)

①参加したい ②必要だ ③必要ない ④わからない

Q07.情報発信による地域共助の醸成(ICT・ラジオ・映像発信)

①参加したい ②必要だ ③必要ない ④わからない

Q08.地域交流の強化による商業・農林業分野の連携促進

①参加したい ②必要だ ③必要ない ④わからない

Q09.観光開発(杉戸町・富岡町・川内村ブランドの構築)

①参加したい ②必要だ ③必要ない ④わからない

Q10.地域イベントを利用した地域間交流促進

杉戸町(杉戸流灯まつり・五十市・江戸川カッパ市・しあわせすぎ朝市等)と富岡町・川内村(天山祭・復興祭等)の各地域イベントへの相互出展を進め、人材交流や商業農業交流を促進する。

- ①参加したい ②必要だ ③必要ない ④わからない

Q11.広域的地域間共助全般について

- ①参加したい ②必要だ ③必要ない ④わからない

C02.提言・理由

.....
.....
.....
.....
.....

Q12.ソーシャルネットワークサービス

インターネット等を利用したコミュニケーションサービス

専門家も参加する「市民キャビネット災害支援部会メーリングリスト」を用意しています。

参加希望の方は、本事業ホームページ <http://kyoujo.nngo.net/> から申し込みまたは

メールアドレスをご記名欄に記載し、申し込みを✓下さい。

- ①参加したい ②必要だ ③必要ない ④わからない

ご記名欄:ご記入は任意です。ご記入の方には、郵送・電子メールで案内を差し上げます。

お名前	
ご住所	〒 ー
被災地の住所	〒 ー
電話番号	
E-MAIL	メーリングリストへの参加登録 <input type="checkbox"/> 申し込み <input type="checkbox"/> 不要
連絡事項	

※ご記入いただきました情報は、主催者が管理し、広域的地域間共助事業推進のために利用させていただきます。当情報を行政以外の第三者に提供することはありません。